



All photo credit : Anna Nagai

## TOKYO SAIKAI SHOWCASE

2023年10月24日（火）オープン

東京西海株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：児玉賢太郎）は、10月24日（火）に新しいショーケース「Tokyo Saikai Showcase」をオープンいたします。社屋1階を改装したショーケースは、東京を拠点に活動する増田信吾＋大坪克亘が設計を担当。展示会やワークショップなどのイベントを開催するギャラリースペース、ウェブショップの梱包や発送を行うワークスペース、地域とのつながりを深めるガーデンテラスから構成され、これまでとは異なるタイプの可能性を追求するショールームです。

新しいショーケースは、長崎県波佐見町でのものづくりの精神とともに、東京西海の陶磁器ブランドを紹介する場です。メイン・ギャラリーを補完する機能的なワークスペースが存在し、隣接する通りから日々の業務の様子を見ることができます。この改築プロジェクトの立ち上げに際し、建築家は旧東京西海社屋のワークスペースとスタッフの活動を調査しました。特に、隠れた場所での実用性と創造力を発見し、これが東京西海の企業姿勢を具体化していると認識し、日々の業務を通行人にも見えるようにして透明性を高め、地域社会との対話を促すアイデアにつなげました。

10月24日から開催されるHASAMI PORCELAINの日本初のローンチイベント「The Grey Collection」を皮切りに、さまざまなイベントが計画されています。また、会期中は食器も販売され、ショーケースも一般公開されます。



## ローカルビジネス、グローバルビジネス

2013年、東京西海は、長崎県波佐見町にある西海陶器の子会社として創業しました。『ローカル企業であり、グローバル企業である』ことを自社のポジショニングとして、ビジネスに取り組んできました。社会の変化を柔軟に受け止め、世の中のニーズに合う陶磁器ブランド、会社づくりを目指してきました。この先の10年を考えた時、東京西海のルーツである波佐見町のように、身近な環境で深く繋がること、助け合うことの大切さを考えるようになりました。東京西海の社屋がある世田谷の地域コミュニティとどのように関係性を深め、頼られる企業として成長できるかを問いかけました。今回のリノベーションでは、会社や働くスタッフの雰囲気オープンにすることを大切に設計になっています。「Tokyo Saikai Showcase」を通じて、共有と共感の時間を積極的に設けた職場・コミュニティの環境づくりを目指したいと考えています。

— 東京西海 ディレクター、玉木綾香

## 建築・デザイン



### -レンガ色

この建物の外壁にはレンガタイルが主な素材として使われています。これからも長く、でも新しいかたちでこの地域に関わるように、補習用で残っていた昔のタイルを使用し、新たに花壇をひとつ作りました。厳選された窓サッシや建具は、レンガ造りに合わせて銅色に塗装しています。鉄や木など、ベースとなる素材によって表情が異なり、奥行き感が増しています。



### -タイル

ライトアップされた外部パネルと、ギャラリーとワークスペースの間の部分にはタイルが使用されています。内装部は、ブルーグレーのタイルが光を反射し、濃い色の目地材がコントラストを生み、個々の要素のつながりを強調しています。また、隣接する空間の景色を縁取り、風景のようなシーンを作り出すという視覚的な役割も果たしています。



### -リッチライト

超高圧縮された紙でできたこの板は、素のままだとマットな表情で、磨くと光沢が出て、また違った上品さに仕上がります。ギャラリースペースでは、リッチライトのパネルを磨き上げ、一般的なマットな質感とはまったく異なるスタイリッシュな雰囲気を出しました。耐久性と耐水性に優れたこの素材は、什器の天板にも使用され、ワックスを何度も塗り重ねることで、漆のような深みと光沢を生み出しています。ガーデンスペースのベンチ・テーブルには、研ぎ出し仕上げが施されています。

\* リッチライトは、HASAMI PORCELAINのグレーコレクションにも採用されています。



### -ブルー

この建物2階の外装はブルーが塗装されていました。レンガの色と補色の関係にあります。ピロティの天井は暗くなりがちなので、そのブルーより少し明るく塗装し、一部壁面として連続します。床の一部にもその色を使用しています。銅色に塗装したメインの作業台とワークデスクの下地は木ですが、実はこのブルーを塗装し、その上から銅色を塗装しています。光の加減や見る角度によって異なる表情を生み出しています。

## PROFILE 増田信吾+大坪克亘

増田信吾+大坪克亘（ますだしんご・おおつぼかつひさ）2007年に増田信吾（1982年生まれ）は武蔵野美術大学を卒業、大坪克亘（1983年生まれ）は東京藝術大学を卒業し、増田信吾+大坪克亘を共同主宰。増田信吾は2015年コーネル大学客員教授、2019-2021年明治大学特任准教授、2023年香港大学客員教授、ハーバード大学客員教授を歴任。作品に「躯体の窓」(2014)、「リビングプール」(2014)、「最初の屋根」(2016)、「街の家」(2018)、「七ツ鉢」(2021)など。主な受賞にAR Emerging Architecture Awards大賞(2014)、第32回吉岡賞(2016)などがある。2020-2021年TOTOギャラリー（六本木、北九州）にて、展覧会を開催。



Photo : Maya Matsuura

## LAUNCH EXHIBITION      The Grey Collection

Tokyo Saikai Showcaseのオープンを記念して、HASAMI PORCELAIN 'THE GREY COLLECTION' が10月24日より開催致します。インテリアスタイリストの作原文子氏による空間で、プレート、ボウル、マグカップ、トレイなどのコレクションを日本初公開します。会場では商品の販売も行います。

### 【一般公開】

期間 10/24-11/16 毎週火曜・水曜・木曜（予約不要）

時間 11:00-17:00

住所 東京都世田谷区瀬田4-29-11 Tokyo Saikai Showcase（設計：増田信吾+ 大坪克亘）

## ACCESS INFORMATION

158-0095 東京都世田谷区瀬田4-29-11

Tokyo Saikai Showcase（用賀駅より徒歩14分）

\* 開館日・開館時間は変更になる場合があります。

## お問い合わせ

プレスの方は、東京西海・山田までご連絡ください。

info@tokyosaikai.com tel: 03 6431 0062

tokyosaikai.com

